

科目名	英語 I B English I B			担当教員	新任教員				
	学 年	学 期	通年		履修条件	必修	単位数	2	
分野	1年	一般	授業形式	通年	講義・演習	科目番号	12120010	単位区分	履修単位
学習目標	英文読解力の養成を中心に行う。容易な英文から始めて様々な英文を読み、英文に慣れることによって読解力を養う。また、内容把握や語句・文法の解析を通じて、読解力の基礎となる英文法の知識の定着と語彙力の増強を図る。								
進め方	<ol style="list-style-type: none"> 英語学習者に適した英文で書かれた英語図書をテキストに用い、英文の構造や文法を解説しながら読み進め、様々な日常的な英語表現を学ぶ。またストーリーの背景にある歴史や文化を学ぶ。 語彙力増強のためコーパス 3000 を用いた単語テストを定期的に行う。 易しい英語多読用図書を用いて、辞書を使いながら自力で読書し、英文要約や英文コメントを書く。折にふれ、リスニング演習を行う。 								
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標					
	1. Billy Elliot を読む。(Chapter1～2) (7) 2. 英語多読・英文要約, リスニング演習など (7)			1. 英文の構造や文法を理解し、読解できる。 2. 辞書を用いてまとまった量の英文を自力で読んで英文要約し、英文で簡単な感想が書ける。 *学習・教育目標：(D:論理的なコミュニケーション能力の育成)					
	[前期中間試験] (2)								
	3. Billy Elliot を読む。(Chapter3～4) (7) 4. 英語多読・英文要約, リスニング演習など (7)			3. 英文の構造や文法を理解し、読解できる。 4. 辞書を用いてまとまった量の英文を自力で読んで英文要約し、英文で簡単な感想が書ける。 *学習・教育目標：(D:論理的なコミュニケーション能力の育成)					
	前期末試験								
	5. Billy Elliot を読む。(Chapter4～5) (7) 6. 英語多読・英文要約, リスニング演習など (7)			5. 英文の構造や文法を理解し、読解できる。 6. 辞書を用いてまとまった量の英文を自力で読んで英文要約し、英文で簡単な感想が書ける。 *学習・教育目標：(D:論理的なコミュニケーション能力の育成)					
	[後期中間試験] (2)								
	7. Billy Elliot を読む。(Chapter6～7) (7) 8. 英語多読・英文要約, リスニング演習など (7)			7. 英文の構造や文法を理解し、読解できる。 8. 辞書を用いてまとまった量の英文を自力で読んで英文要約し、英文で簡単な感想が書ける。 *学習・教育目標：(D:論理的なコミュニケーション能力の育成)					
後期末試験									
試験返却(1)									
評価方法	各期、定期試験（60%）+提出物、小テスト（40%）で評価する。定期試験までの各期ごとの全体評価への重みは25%ずつである。								
履修要件	特になし								
関連科目	英語 I B→2～5年の英語科目全て								
教材	Billy Elliot (Penguin Readers), コーパス 3000 (東京書籍), 英語多読教材								
備考	毎回必ず辞書を持参すること。								